

11月17日(日)のご案内

今秋、義歯・高齢(2補)同門会では新企画を行います。同門会・正会員の先生方を対象としては従来と同じように総会(今回は臨時総会)後は「講演会」を開催しますが、一方で、同門会・準会員(特に教室の若手の先生方)の先生方を対象に「2補に残っていても開業は全く心配はないよ」ということを、OB/OGの比較的开業間もない先生による講演と座談会(交流座談会)を開催します。

またその後は、これまでつながりが少なかった同窓会の正会員と準会員の「顔見せ」ならびに「親睦」のために、合同の懇親会を行います。河庄パーティーの昔を思い出して、正会員の先生方は是非ご参加ください。

	正会員 (参加費: 12,000円)	準会員 (合同懇親会・参加費: 2,000円)
13:30 ~ 14:00	受付	
14:00 ~ 14:25	臨時総会 (7階 講義室703)	受付
14:25 ~ 14:30	休憩	
14:30 ~ 16:00	講演会 (7階 講義室703)	若手準会員・交流座談会 (7階 講義室702)
16:00 ~ 16:05	懇親会場へ移動	
16:05 ~ 18:30	合同懇親会 (9階 交流サロン)	

正会員・講演会の講師紹介

同門会正会員の先生方を対象とした「講演会」のご案内をご紹介します。

歯科医師として開業をし年齢が増すと、「自分の医院をどうするか?」ということぶち当たります。それはご子息・ご令嬢が継がれる場合でも問題が発生するとも言われています。そこで「今から始める医院継承問題」と題して、2人の先生方にご登壇頂きます。是非お聞かください。



「今から始める医院継承」

講師 1 : 二上吉男先生 (医療経営コンサルタント)

二上 吉男 (株式会社ずのお 代表取締役)
ふたがみ よしお。

1978年慶應義塾大学法学部卒業。上田公認会計士事務所勤務を経て、1991年(株)ずのお(大阪市中央区)開設。
診療所の開業・運営コンサルティングを手掛け、これまで350件以上の診療所開業を支援。また上記のように「日経メディカル」にも多数投稿。



講師 2 : 橋本清治先生 (税理士)

橋本清治 (橋本清治税理士事務所 所長)
はしもとせいじ。

1961年生まれ。立命館大学大学院法学研究科博士課程前期課程修了。外村源太郎税理士事務所勤務を経て、2006年、橋本清治税理士事務所(京都市下京区)を開設。
税務のエキスパートとして様々な著書にも多数執筆。



参考 : 若手準会員・交流座談会 (14:00受付、14:30~開始)

講師 1 : 吉仲暢子先生 (吹田市ご開業)



「選択肢 開業するということ」

講師 2 : 難波秀和先生 (宮崎県ご開業)



「地域の入れ歯屋さんとして生きる。
でもいろんなことをしていきましょう！」

11月17日(日)のご案内

今秋、義歯・高齢(2補)同門会では新企画を行います。同門会・正会員の先生方を対象としては従来と同じように総会(今回は臨時総会)後は「講演会」を開催しますが、一方で、同門会・準会員(特に教室の若手の先生方)の先生方を対象に「2補に残っていても開業は全く心配いらないよ」ということを、OB/OGの比較的开業間もない先生による講演と座談会(交流座談会)を開催します。

またその後は、これまでつながりが少なかった同窓会の正会員と準会員の「顔見せ」ならびに「親睦」のために、合同懇親会を行います。準会員の先生方は奮ってご参加ください。

	準会員 (合同懇親会・参加費：2,000円)	正会員 (参加費：12,000円)
13:30 ~ 14:00		受付
14:00 ~ 14:25	受付	臨時総会 (7階 講義室703)
14:25 ~ 14:30		休憩
14:30 ~ 16:00	若手準会員・交流座談会 (7階 講義室702)	講演会 (7階 講義室703)
16:00 ~ 16:05	懇親会場へ移動	
16:05 ~ 18:30	合同懇親会 (9階 交流サロン)	

若手準会員・交流座談会の講師紹介

講師 1 : 吉仲暢子先生 (吹田市ご開業)

「選択肢 開業すること」



よしなかまさこ

1984年 府立北野高校卒業
1991年 2補入局
2011年 吹田市寿町で開業

1998年 大阪大学博士(歯学)取得
2000年 日本補綴歯科学会 専門医(06年指導医)取得
2002年 厚生労働省認定 歯科臨床研修指導医 取得
2009年 日本老年歯科医学会 認定医 取得

阪大歯学部38回生の吉仲です。卒業後20年間教室でお世話になった後に、地元吹田で開業しました。本日は、私が医局員時代に何を考えていたのか、開業をどうして選択したのか、開業して8年目の現在と反省点などをお話したいと思います。少しでも皆さんの参考になれば幸いです。

現在皆さんは、医局に在籍していますが、大学を辞めるか辞めないかの選択をする時期が必ずきます。選択肢としてどのような道があると思いますか? 大学を辞めて何をするか、いつ辞めるか、辞めるまでに何をするかを考えなくてはなりません。『開業』を選択する場合、研究は学位が取得するための手段にしか過ぎず、教育は雑務だと思っている人はいませんか。日々の臨床に直接関係することだけが必要なものではないはずです。少なくとも、臨床しか興味のない人は開業医には向いていません。私自身は、色々考えることの多かった研究も、学生教育も、医局での生活も全て経験して良かったと思っています。これまで、進学、就職時に様々な選択をしてきたと思います。皆さんは、歯科医師として次どのような選択をするのでしょうか。後悔のない歯科医師ライフをおくりましょう。

講師 2 : 難波秀和先生 (宮崎県ご開業)

「地域の入れ歯屋さんとして生きる。でもいろんなことをしていきましょう!」



なんばひでかず

1966年 岡山県生まれ
1985年 府立茨木高校卒業
1992年 岡山大学歯学部卒業
1992~1997年 2補入局
1997~2001年 大阪厚生年金病院 歯科口腔外科(医長)
2001~2015年 宮崎市内 兵庫県内 歯科医院勤務(分院長)
2015年 宮崎市清武町で開業

2000年 日本補綴歯科学会 専門医(第1667号)取得

岡山大学を卒業して、平成4年2補に入局して5年ちょっとお世話(特に小野先生・池邊先生にいろいろと教えていただきました)になりました。その後、大阪厚生年金病院で4年間、宮崎に移住して勤務医として14年、遅まきながら宮崎市内で開業して4年ほどになる難波秀和と申します。

医局員の方の中にも地方出身の方もおられると思います。私の開業している所は、宮崎市でも南部の農家の多い地域(つまり田舎)なため、当然有床義歯の患者が多いです。基本は保険で良い入れ歯をモットーに地道に治療を行っております。中にはインプラントや4年ほど前からまじめに取り組みだした矯正治療も気分転換で行っております。そんな田舎の歯医者の実態と、若い方は今こんなことを勉強しておいたらいいですよということをお話しさせていただきます。

参考 : 正会員・講演会「今から始める医院継承」(13:30受付、14:00~開始)

講師 1 : 二上吉男先生 (医療経営コンサルタント) 講師 2 : 橋本清治先生 (税理士)